

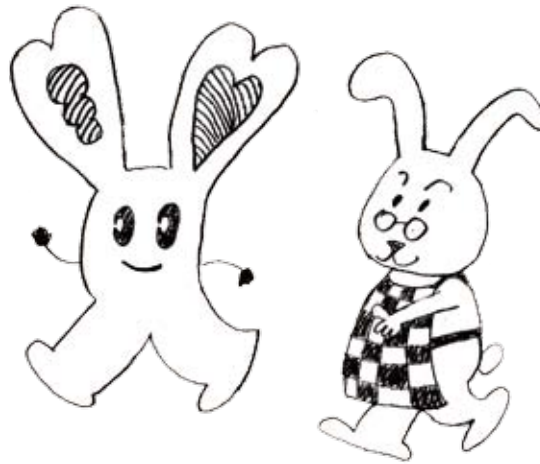


# 初体験

ぼくたちに！

おまかせください♡

ねえ のたろん  
ボクたちの初体験のこと  
おぼえてる？



忘れるわけ  
ないじゃないか。

あれは  
15年前の  
夏のこと…

**夏です。**

夏は **学生のみんなが初体験をするチャンス！**

夏は **市民活動 ボランティアを体験できるイベントが**

**たくさんあります。**

**ぼくたちは、みんなの初体験を応援します！**

ハジケル！



# のたろん夏号

((( すかっこの 市民活動情報 )))



# 2016 7月16日(土)から8月31日(水) 夏の市民活動・ボランティア体験

少しだけ時間がとれる夏休みに、

いつもと違う体験をしてみましょう。イベントに参加したり、運営のお手伝いをしたり…

サポセン

ボラセン

まなびかん

がっぷりタッグを組んで

みんなの市民活動、ボランティアの体験をサポートします！

例えば・・・こんな体験・・・いかがですか？

横須賀の商店街を浴衣で楽しむイベント運営のお手伝い  
こどもと遊んだり、片付けをお手伝い 子どものおもちゃグッド・トイの紹介  
ゆかた DE スカブラ  
災害時のごはんってどうしたらいいの？！  
東日本大震災で被災した音楽家を目指す学生を支援しています。食の面から災害対策  
子ども食堂 子ども達と一緒に料理を作ったり一緒に遊んで子ども達の声をききましょう  
障がいのある子どもたちと 三浦半島のお城？！  
『鳥獣戯画』『風神雷神図屏風』と横須賀 講演会「歴史めぐりの楽しさと三浦半島のお城」  
水生生物調査 緑陰の清流・前田川で生き物しらべ  
ギャラリートーク  
災害のときに役立つ講習会  
深浦湾のアマモ場で生きもの観察会 赤十字講習会「災害時 高齢者支援」  
気になるものはありましたか？他にも体験イベントいっぱいあります。箱メガネを使って  
・・・などなど・・・

イベント冊子 絶賛配布中！（無料です）  
35団体 44 イベント掲載！

サポセンの他、コミセン、市役所でも入手できます。

お問合せはサポートセンターへ。

みんなの体験をバックアップします！

わからないことがあったら  
ポクにきいてくださいーい



GAYA(我舎) 横須賀 島田 昌平さん

熱心にクールに活動を続ける好青年。GAYA 横須賀の島田さんにお話を伺った。

昭和 48 年大阪に生まれ。中学入学時に父の転勤で、東京へ。関西弁の島田さんは、激しいいじめの対象になり、中学高校とグレてしまった。

高校を卒業しても目標が無く、大学に行く気もないのに予備校に入った。受験するも不合格。「本当に何かして」と母に泣かれ、たまたま見た映画「羊たちの沈黙」から犯罪心理学が面白いと思った。それから中学レベルから教えてもらえる塾に通い、1年間勉強。希望の福祉心理学部に合格した。

入学すると犯罪心理学の講座がなくなっていた。目標を失った島田さん、昼はテニススクールのコーチ、夜は飲み屋のバイト、夏はサーフィン、冬はスキー、大学に行くのは、テニスサークルくらい。と学生生活を楽しんだ。

3年生になって、祖母から、祖父がアルコール依存症だったことを聞かされた。「大好きだったおじいちゃんが、そんなはずはない。」アルコール依存症がどんな病気か知りたい、島田さんは、希望実習で依存症の専門病院へ通う。そのとき担当した患者さんは、大企業の社長だった。「病気なんだから、役職は全然関係ないんだ。」依存症に対して偏見を持っていた自分が恥ずかしくなった。

4年生の時も同じ病院で実習、また、依存症の勉強会があると聞き参加した。卒業が近くなった頃、横浜のクリニックの求人があった。今来てくれるなら採用という話で、卒業を前に、就職した。

依存症については勉強していたが、患者の支援や、医学的な話は、ほとんどわからなかった。勉強しなくてはと思い、自費で研修に参加するなど、大学受験以来の猛勉強をした。

数年間勤めた頃、プライベートでつらい経験があった。打ちのめされている島田さんを見た友人から、NA(薬物依存症自助グループ)50周年というのが、サンディエゴであるから行かないか?と誘われた。



着いてみると、町は、タトゥーなどをした人々でいっぱい。みんな、よく来たねーってハグしていた。「なんで、この人達は、あれだけつらい体験をしてもこんな素敵な笑顔をするんだ。苦しんだ末、薬とかお酒を手放して、元気になってゆくことは、素晴らしい。僕もあの人達のように輝く目を持ちたい。」このときの経験が依存症の支援を続けてゆく原動力になっているという。

その後、病院での支援に限界を感じていた島田さんは、GAYA 横須賀の施設長を引き受けた。

当時の GAYA では、利用者が壁向きで作業していた。作業効率が上がるのだという。島田さんは「ここは作業効率を上げるための場所なのでしょうか?今日からテーブルを中心に置いてください。顔を上げたら目が合い話ができるようにしましょう。」以来13年、人と人との壁、障碍と社会の壁を無くして行こうとする、島田さんの活動は続いている。

「この街で、自分たちも楽しめる企画がたくさんあって、自分達も参加しているのが見せられたら、GAYA メンバーの励みになる。地元に関心をもてれば、より楽しく生きられるのではないかと語る。壁を壊し、つらさを乗り越え、輝いてゆく島田さん、新世界の扉を開くパワーをもらったようなインタビューだった。(はこざき)

GAYA(我舎) 横須賀 とは

アルコール・薬物・ギャンブル等の依存症に特化した障がい者地域活動支援センターです。仲間と共に過ごし、病気について学び、対処法を身につけていくこと、そして自らのコミュニケーションのあり方を振り返っていくことで、一人ひとりが地域の中でより豊かに生活できるよう支援しています。

冊子発行  
2016年版

「なにか始めたい」「ボランティアをしてみたい」人のための  
横須賀の市民活動・ボランティア情報  
A4サイズ・22ページ 71団体の情報掲載

福祉、文化・スポーツ、環境、まちづくり、こども子育て支援、IT、その他、分野別で探しやすい冊子です。当センターのほか、行政センターなどの市内公共施設に置いてあります。





サポセンを利用している人に聞きました。

若い人に、体験してほしい！こと  
経験してほしい！こと

バンジージャンプ 走る！！

一步踏み出す勇気が身につく！？

特になし

自分の興味のあることに挑戦してほしい

いろいろな年代のたくさんの人と関わること

やさしさや礼儀、思いやりなどを学べます  
色んなものごとを吸収する機会が増えるから

三浦半島から出てみ！

世界は三浦半島だけじゃない

一人暮らしや一人旅

大変だなんて思うところで自分が成長する

恋・失恋

命みじかし恋せよ乙女！

地域の中でやっている行事に参加してほしい

学校だけでは知る・会うことが難しい世界、人を知って欲しい。

地域の人と連携することで地元意識を持ってほしい。

いろいろな世代とつきあえ！経験値あがるぞ！

清掃活動

きれいになることはとても気持ちいいから

防災訓練 災害支援

どこでも災害は起きるので、避難場所の確認や炊きだしなど必要だと思う

小さな子との交流

理論だけではいかない事を知ってほしい。

児童相談所

子どもも多くの人と接することで、感情豊かな子になってほしい。

普段知らない事だから知っておいたほうが良い。

結婚

息子よはやく孫の顔を見せてくれ

ボランティアを経験してほしい！

学校で、ボランティアってめんどくさいだけと言われたので

パソコンプログラミング

全ての学校授業の必要性を具体的に感じることができるから

福祉ボランティア

(耳が不自由、目が不自由) 年配者(老人) 子どもとのかわり

福祉関係の仕事

自分では、自分には、気づかない、わからない事を体験、経験することで、気づかせられるし、  
相手のことがわかり、やさしくなれると思う

本人も成長する

自分の力で働く事

人生お金ではないが、お金がないと何もスタートしない



アンケートの回答が  
全部見られます♪

おひるね

私が子どもの頃、父は店の前に落ちていたツバメのひなを巣に戻したことがあった。そのツバメが育って飛び立つときに、まるで挨拶をするように店の中に入ってきて一周して去って行った。我が家ではこのできごとを「ツバメの恩返し」と呼んでいて、毎年ツバメがやってくるころにはこの話を思い出す。

5月中旬に入った気持ちのいい朝、店のシャッターを開けた。その瞬間、2つの黒い物体がシャッターをくぐり店に入ってきたのが見えた。慌てて母を呼び、物体の正体を確認した。店内に置いてある資材の上に、かわいいツバメのカップルが止まってこちらを見ていた。「ごめんね、もうお父さんはいないんだよ。会いに来てくれてありがとうね。」と母がツバメに向かって懸命に説得している。2匹のツバメは理解したのか、あの日のように店内を一周して去って行った。

庭に出て、母とツバメが飛び去って行った方向を見上げた。父を亡くしてずっと悲しみのどん底にいた私たちをほんのひと時癒してくれた、小さな奇跡だった。「これ、言っても誰も信じてくれないね。」「そうだね。」と言いつつながら私たちは静かに泣いていた。涙は悲しいときにだけでなく、うれしいときにも流れるということを思い出しながら。

父は亡くなる少し前母に、「おい、今年もツバメが来たぞ。」と言っていたらしい。やはり最後までツバメを気にしていたようだ。来年もツバメは父を訪ねてくるかもしれない。それを今から楽しみにしている。(おおしまりえこ)



\*\*\*\*\* サポセン topics トピックス

## 新しく キッズコーナーが増えました！

サポセンの館内に『キッズコーナー』が、もうひとつ出来ました。お話合いのそばでお子さんが遊べるサークル型のコーナーです。しっかりしていて少々重たいですが動かさず。場所の移動をしたいときにはスタッフに声をかけてください。サークルの中にはいろいろな仕掛けがついていて楽しいですよ♪



のたろんがお送りする「のたろんジャーナル」

- ◆サポセン発信情報(カメラ付き携帯で読み取れます)
- ◆Eメール info@yokosuka-supportcenter.jp
- ◆サポートセンターのホームページ

「のたろん Web」は「のたろん」で検索♪



のたろんジャーナル

のたろん

検索

情報誌「のたろん」夏号(通巻67号)

2016年7月1日

発行 横須賀市市民活動サポートセンター

編集 指定管理者 特定非営利活動法人 YMC A コミュニティサポート

横須賀市本町 3-27 (京浜急行汐入駅徒歩1分)

TEL 046-828-3130

FAX 046-828-3132

市民活動サポートセンターは、市民活動、ボランティア活動の打合せや作業、情報収集を行なう施設です。ご利用の際は受付にて利用票のご記入をお願いします。

